

気候危機は農業も危うくする！ 食と農をまもり、持続可能な社会の構築を！

埼玉農民連副会長・産直ネットワーク協会専務理事

松本慎一さんがお話します

日時 6月7日（土）午後2時開場 2時30分開会～5時閉会

会場 さいたま市文化センター3F

大集会室



松本慎一さん 加須市で50年以上にわたり農業に従事、農民連の幹部として埼玉での食と農業を守って奮闘。田んぼの上に太陽光パネルを設置するソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）を実践する先頭に立ってこられました。

私たちは、気候危機をストップさせるために、温暖化を促進するCO2 温室効果ガスの排出を減らすために、また地域から持続可能な社会をつくるために、どうすればよいかを学び、脱炭素・脱原発をめざす「彩の国でんき」とともに活動してきました。

この持続可能な社会とは、地域に眠る自然エネルギーの活用とともに、食と農の確保、人間同士が支え合うケア（医療・福祉・教育）を誰もが安心して享受できることを意味します。内橋克人氏は、FEC自給、すなわち食糧（Foods）・エネルギー（Energy）・ケア（Care）自給を国民の基本的生存権として保障する国づくりを提唱しました。

ところが、いま私たちは、コメ不足と価格の高騰で苦しめられています。なぜ、このような事態が起こったのか。ここには、日本特有の経済政策・農業政策の誤りがあると同時に、深刻化する温暖化が農業の存立を脅かしています。コシヒカリは、出穂後20日間の平均気温が27℃を超えるあたりから、白未熟粒の発生が顕著となるとされ、23年度は大きな影響を受けました。

いま世界では、温暖化の進行のもと、異常気象の頻発、単品種の大規模耕作による土壌の劣化や水不足、農薬の多使用と害虫の発生、伝来の農地を奪われた農民の生活の困窮、戦争等々によって、農業への打撃が深刻化、難民発生の大きな原因となっています。

こうしたとき、埼玉農民連の副会長として、自ら農業に取り組み、埼玉での食と農を守るために奮闘されてきた松本慎一さんをお迎えし、報告をいただき、誰もが安心して暮らせる埼玉をめざし、ともに考えたいと思います。



参加希望者は下記にご連絡をお願いします。 参加費は当日募金をお願いします。

連絡先 NPO 法人埼玉自然エネルギー協会・株式会社彩の国でんき Fax 048-864-8686 048-711-9336

E-mail info@sainokunidenki.co.jp

吉村文則（090-7843-8653）

（2025.05.10）

気候危機打開、持続可能な社会づくりに賛同するみなさまへ

NPO 法人埼玉自然エネルギー協会へ入会し、ともに学び、行動しましょう！

ただいま、「彩の国でんき」は、加須市に市民共同発電所を建設、東京の事業所に

再エネ電気を送る事業に取り組んでいます。

脱炭素・脱原発 原発に頼らず、自然エネルギー電気を増やしたいと考えておられる方へ

「彩の国でんき」を応援してください！

◆市民新電力「彩の国でんき」から電気を購入するパートナーになること

現在契約されている小売電気会社から切り替えは簡単にできます。下記にご相談ください。契約者のお名前、供給地点番号などを記した請求書などをご用意ください。

「彩の国でんき」の電気料金は、東京電力と同水準です。

◆太陽光発電をされている方は、発電した電気を「彩の国でんき」に供給（売電）するサポーターとなること

すでに固定価格買取制度を終了した方は、当社にお売りいただく契約をしていただきます。

まだ固定価格買取制度が未終了の方は、東電パワーグリッドによる電気購入代金の支払をうけながら、電気の供給先は「彩の国でんき」とする「特定卸」によって当社に電気を供給していただきます。

◆「CN（カーボンニュートラル）未来基金」に協力いただくこと

「CN 未来基金」（脱炭素・脱原発、エネルギーの地産地消をめざす借入金あるいは募金）は、地域で太陽光発電設備を設置する資金となるものです

当社は、太陽光発電設備の設置と活用に取り組むための資金を、募金あるいは借入金「CN 未来基金」で調達し、事業による成果をもとに元利を返済します。

具体的な内容は、個別に相談します。募金は金額を問いません。将来にわたり、募金者のお名前を記録します。

◆「彩の国でんき」の第三者割当増資に応募いただくこと

「彩の国でんき」は、2024 年 7 月末現在、資本金 3275 万円です。2024 年 9 月の株主総会で、2025 年 6 月末日まで、1725 万円の第三者割当増資を行うことを決議、増資を募集しています。

1 口 5 万円で、事務の都合上 2 口以上をお願いしています。詳細、具体的な点については、ご相談ください。

「（株）彩の国でんき」は、NPO 埼玉自然エネルギー協会の市民共同太陽光発電事業のとりくみをふまえ、市民が出資、設立した小売電気会社です。「彩の国でんき」の経営理念・目標はつぎの 6 つです

- ◆自然エネルギー電気を地産地消します
- ◆気候危機打開へ、脱炭素（二酸化炭素排出ゼロ）を実現します
- ◆防災のため、地域分散型電力システムを構築します
- ◆小売電気事業の利益を市民に還元します
- ◆原子力発電に頼らず、脱原発をめざします
- ◆国連の SDGs、持続可能な新しい社会の実現をめざします

私たちは、広く、市民の皆様のご支援とご協力で、経営理念を実現していきたいと考えております